



10月20日(日)～10月26日(土)

## 「パッサウ市姉妹都市提携35周年記念事業」を実施しました。



聖シュテファン大聖堂での両市民による合唱

ドイツ・パッサウ市との姉妹都市提携35周年を記念し、穂積志市長、小野寺誠市議会副議長を初めとする秋田市代表团が、2019年10月に、秋田市民訪問団65名の皆さんと共に、パッサウ市を訪問いたしました。

22日の夜には、パッサウ市庁舎において、本市代表团・訪問団のほか、パッサウ市のドゥッパー市長、市議会議員、パッサウ独日協会の皆さんなど、多くの参列者とともに、記念式典に参加し、両市の35年の歩みをお祝いいたしました。

22日の午後には、市内中心部にあるパッサウ市最大のショッピングモール「STADTGALERIE」にて、日本・秋

田の文化紹介イベント「秋田デイ」を、パッサウ独日協会、秋田日独協会の協力のもと開催しました。訪れたパッサウ市民の皆さんに、書道や折り紙を体験してもらったり、日本酒の試飲や日本のお菓子の試食を行い、好評を博しました。

24日の夜には、パッサウ市の誇る壮麗な聖シュテファン大聖堂において、両市民による合唱団の記念コンサートが開催され、シューベルトのミサ曲などを披露し、その美しい歌声によって多くの聴衆を魅了しました。

滞在中の様々な行事やイベントを通じて、35年を迎えてもなお、ますます深まる両市の絆や両市民の変わらぬ友情を強く感じることでできた素晴らしい訪問でした。



秋田市-パッサウ市姉妹都市提携35周年記念式典



パッサウ市のドゥッパー市長との懇談



記念式典で挨拶する穂積市長

## パッサウ市訪問の様子



パッサウ市で秋田デイを開催



前パッサウ独日協会会長 ラウシャー氏へ  
感謝状を贈呈



聖シュテファン大聖堂での記念コンサート

### パッサウ市姉妹都市提携35周年記念 事業に参加したみなさんのコメント



#### パッサウ独日協会会長 ノルベルト・パルーザ

このたび、穂積市長と奥様、副議長をはじめとする71名の秋田市の皆さまと共に35周年のお祝いができることを光栄に思うとともに、皆さまがパッサウ市まで来て頂いたことにとっても感謝しています。パッサウ市民にとって、秋田市民との長年の関係はとても特別なもので、地元紙にも35年に渡る姉妹都市の歴史が特集記事として掲載されました。

そして、約200名のパッサウ市民が集まった聖シュテファン大聖堂では、秋田市の32名の合唱団とパッサウ市の音楽家達の共演による素晴らしいコンサートを披露出来たことを誇りに思います。また、「秋田デイ」は、日本酒の試飲、折り紙や書道の体験などを楽しむことができ、とても充実した内容でした。次回は期間を延長して日本酒などの販売などもしていただければさらに楽しいものになるでしょう。日独交流160周年を祝う2021年には、日本-秋田ウィークとしてパッサウ市で再び開催することができれば素晴らしい機会となると思います。

今後は、相互の地元紙掲載やビデオ会議などを活用しながら、教育・スポーツ・文化・ビジネスなどの情報交換の機会が増えれば、さらに交流を広げることができると思います。私は、引き続き両市の友好交流のためのサポートに全力を尽くします。

#### 秋田日独協会会長 添野 武彦

故高田景次市長さんの肝煎りで実現した、秋田市・パッサウ市姉妹都市提携が、早いもので令和元年には35周年となりました。5年毎の相互訪問で、今回は秋田市が行く番となり、70人余が参加しました。定期的な交流の他にも、何かと日独交流が行われていますが、大掛かり訪問は久しぶりです。パッサウ市側では、秋田市を宣伝するために《秋田デイ・物産展》を、市中心部の商業ブースで企画してくれましたが、日本酒の試飲等はあり好評であったものの1日のみの開催となり、秋田市側がその期待に応えていたか、多少疑問が残ります。今後は秋田の物産販売などを前向きに検討すべきだと思います。それは兎も角、今回のハイライトは、聖シュテファン大聖堂での【シューベルトのト長調ミサ曲D167】を、教会所属の合唱団と共演した事でした。秋田からは日独協会員有志と、市内有志の方々合計32名が参加。総勢約70名の大合唱団がオーケストラの伴奏で演奏し、好評を博しました。両市民の草の根的交流には、この上ない良い機会でした。今後もこのような機会を捉え、姉妹都市連携に微力ながら貢献出来ればと考えています。



#### 秋田日独協会会員 佐藤 雅子

今回のパッサウ訪問は今までとは少し異なった心境でした。それは、聖シュテファン大聖堂で教会所属の合唱団と一緒にシューベルトのラテン語のミサ曲を歌うという夢のような目標があったからです。コーラスは高校以来、音符もろくに読めない私には、なんと大胆な挑戦でした。約一年半前から、大聖堂で歌えるようにとの一心で練習を重ねてきました。同行する市民合唱団の皆様のご理解と羽川先生の熱心なご指導をいただき何とか歌えるようになりました。

本番前に大聖堂合唱団の指揮者の方からGood!と仰っていただき、ついに10月24日、壇上へ上がりました。その素晴らしい時間は、あっという間でした。さらに、旧交を深めた充実した4日間でした。

最後のパッサウ訪問と思っていたのですが、このような機会がまたあれば、是非参加したいと思っています。



11月16日(土)

## 「秋田市国際フェスタ2019」開催しました。

2019年11月16日にアルヴェで行われ、今年で4年目を迎えた「秋田市国際フェスタ2019」。ステージでは、市内の男子高校生による元気な司会進行のもと、ネパール舞踊、バリ舞踊、カリブ海や満点の星空をイメージさせるスチールパン演奏、そして8月に行われた「秋田市・ウラジオストク市青少年クラシックバレエ交流」訪問団の体験談とバレエ演技など、国際色豊かなパフォーマンスが披露されました。



本イベントにご協力いただいた高校生ボランティアの皆さんには、自国を紹介する外国人住民と来場者とのやりとりを助ける通訳としてお手伝いしていただき、市民と共に、生の異文化交流を経験し、交流を深めました。秋田市の友好・姉妹都市（蘭州市、パッサウ市、ウラジオストク市、キナイ半島郡、セントクラウド市）を含む、全16か国の紹介ブースが設けられた会場では、秋田市在住の海外出身者を含む多くの来場者で賑わいました！



昨年からの企画で大好評だった秋田市オリジナルパスポートで集めるスタンプラリーも実施され、子どもたちをはじめ多くの市民が楽しんで参加したほか、フードエリアでは、ロシアのスープ、ドイツのスイーツ、インド・ネパールのナンとカレーなど、秋田市で食べられる世界の料理も楽しむことが出来ました。

### 秋田高校放送委員会2年 司会 塩畑 逸貴さん、熊谷 尊登さん



今回このような形での司会は2人とも初めてだったので、貴重な体験となりました。そして何より、外国の踊りや演奏などを間近で楽しむことができ、そうした面でも素晴らしい体験でした。また、普段はなかなかたべることのできないグルメもおいしかったです。私たちの仕事が会場の皆さんの国際交流を考えるきっかけになれば幸いです。

### 秋田高校2年 通訳ボランティア 水田 花さん、池田 かりんさん



最初外国の方と日本の方を繋げるという役割に責任を感じ、不安に思っていました。いざイベントが始まると予想以上に多くの方々に来てくださり、楽しくコミュニケーションをとれる場になりました。これからも失敗を恐れず積極的に国際交流の場に参加していきたいです。

### モンゴルブース・ブルンジブース ムンフオチルさん、ムギシャオルビン・ビリーさん



普段は学生をしています。会場の皆さんに自分の国を紹介できて楽しかったです。モンゴルといえば馬と草原のイメージだと思いますが、現在発展しているモンゴルの姿を皆さんに知ってもらいたいと思います。ブルンジの文化をもっともっと知って欲しいです。ブースでは特に食文化について紹介しました。

### ネパール舞踊 リマ・マハラザンさん



今日は本当に楽しかったです。会場の皆さんにネパールのことを知ってもらえるいい機会になりました。ネパールには知らない人でも一緒に踊って仲良くなるという文化があります。最後のステージで会場の皆さんと一緒にダンスできた感動は忘れられません。とにかくこのイベントに参加してよかったです。



8月15日(木)～10月13日(日)

# 蘭州市の研修員が秋田市で研修を行いました。



蘭州市の医師(2名)と教員(2名)の4名が、約2か月間、秋田市で研修を行いました。医師2名は市立秋田総合病院の泌尿器科と小児科で、医療技術や治療法などについて知識を深めました。また、教員2名は、御所野学院中学校・高等学校と秋田公立美術大学附属高等学校で、英語の授業を担当したほか、教育システムなどを学びました。



**楊 言春さん**(蘭州市第二人民病院 泌尿器科 副主任医師)  
研修分野 泌尿外科

2カ月の研修期間中、様々な泌尿外科手術の見学やアシストをしてきました。今回の研修では輸尿管軟鏡の操作などを学んだので、帰国後は出来るだけ早く輸尿管軟鏡の手術を展開し、技術レベルを向上させたいです。また、市立秋田総合病院を参考に患者さんのための設備や対応を向上させ、患者さんが快適な医療を受けられる事が出来るよう自分の病院で提案をしたいと思っています。



**楊 茜さん**(蘭州市婦幼保健院 小児科主治医師)  
研修分野 小児科

研修では、様々な症例を見学し医療知識が豊富になりました。市立秋田総合病院では、患者さんと医師の関係は良好で、医師も丁寧な治療ができていますと感じました。日本では、各科の分野は明確に分かれていて、検査の項目も細かく分かれ、経験を積んだ医師がいることにより正しい診断ができているのだと思います。帰国後は、研修で得たことを同僚と共有しながら、病院内の他科や他病院とも連携し、患者により良い医療を提供していきたいです。



**展 倩茹さん**(蘭州市第六十二中学校 教師)  
研修分野 教育

秋田はきれいな街で、市民・教師・学生たちは礼儀正しく親切に接してくれました。日本人の素養は高く、礼儀と伝統を大切にしている、仕事に対する真面目さを感じました。特に研修した学校では、教師たちのプロ意識と仕事に対する真面目な態度(詳細な時間割・スケジュール・仕事の計画)に触れることができました。帰国後は研修で得たことを活かして、生徒たちの総合能力を養うことを重視しながら、学生の道徳心や個性も伸ばしていきたいと思っています。



**李 迎祺さん**(蘭州市第五十五中学校 教師)  
研修分野 教育

秋田の英語の先生たちは授業前にしっかり下準備をして、事前にしっかりと用意した教材を使用し、新しい内容をより理解しやすくなるよう工夫をしていました。また、授業中は学生が自主的に勉強できるように、ペアやグループ毎にディスカッションできる形にして最後は全員の前で発表させていて、学生が自主的に勉強できるような授業をしていました。帰国後は、研修で得たこのような授業方法を用いて、学生の自主的な勉強意欲を引き出せるようにしたいです。



## 令和2年度 秋田市の主な国際交流・平和関連事業(予定)

\*スケジュールはじめ記載内容は現時点の予定であり、事業実施は、秋田市議会による令和2年度予算議決後に正式決定します。

時期	事業名等	概要
7月上旬	ロシア・ウラジオストク市建都160年式典参加	ウラジオストク市建都160年記念式典および記念行事へ本市代表団を派遣する。
7月11・12日	ナガサキ・土崎被爆証言講話会	長崎から被爆体験者を、また、土崎から空襲体験者を招いて、自らの体験を語っていただく講話会を開催。(入場無料)
8月中旬～10月中旬	中国・蘭州市研修員受入	蘭州市から研修員4名を2か月間受け入れる。
10月4日	あきた国際フェスティバル2020	公益財団法人秋田県国際交流協会との共催により、外国人住民が自国を紹介するブース、ステージイベント等を通して、外国人住民と市民が直接交流するイベントを開催。(入場無料)
11月上旬	中国・南寧市との友好都市締結記念事業	中国・南寧市と友好都市を締結するため本市代表団を派遣するほか、南寧市において記念事業を実施する。
通年	秋田市日本語教室	外国人住民対象の日本語教室を開催。(無料) 毎週木曜日、午後6時30分～8時、場所はにぎわい交流館AU。

ウキパラバックナンバーはこちら▶



お問い合わせ

秋田市 企画調整課 国際・都市間交流担当 TEL 018-888-5464/FAX 018-888-5463

E-mail : ro-plmn@city.akita.lg.jp

https://www.city.akita.lg.jp/shisei/kokusaikoryu/index.html